

華扇結び

① たれを上にして一結びし、帯幅を四つ折りにして整え、結び目の上約10cmで折り返し、三重紐で押さえる。	② たれ、結び際三重紐の下で押さえた際から広げ左羽根を作る。左肩衿より2～3cm出して折り返し、三山ヒダにして手前2本に挟む。	③ たれ、残りを裏返して広げる。
		
④ 左上の羽根に重ねて羽根を作る、左が一枚、右下が輪になる、左二枚目の羽根は一枚目より小さくする。	⑤ 同じ三重紐の1本目に挟む。	⑥ 右下にある羽根を整え三重紐の2本目を引き、クロスする。
		
⑦ 逆さ使いの枕を左右の羽根の下にあて、すくいあげるように結び目の上に当てて、前でしっかり結び帯揚げを掛けます。	⑧ 手先を広げて裏返しにし、表を見て扇ヒダ(三山8枚ヒダ)を作る。10cm位の長さ①で作った四折りの芯に通すのでゴム輪で留める。	⑨ 扇ヒダを①で作った四つ折りの芯に通す、扇ヒダの流れを整えて、帯締めを通し決め線(バランス)を前でしっかり結ぶ。
		